

マネースクウェア・ジャパン

(8728・JASDAQスタンダード) 2013年1月29日

第3四半期以降は取引活発化で業績拡大へ

アップデートレポート

モーニングスター(株)
藤井 知明

主要指標 2013/1/25 現在

| | |
|----------------------------|------------------------|
| 株 価 | 50,100 円 |
| 昨 年 来 高 値 | 55,900 円 (13/01/07) |
| 昨 年 来 安 値 | 41,300 円 (12/06/04) |
| 発行済株式数 | 54,591 株 |
| 売 買 単 位 | 1 株 |
| 時 価 総 額 | 2,735 百万円 |
| 予 想 配 当 (会 社) | 未定 |
| 予 想 E P S (ア ナ リ ス ト) | 5,892.63 円 |
| 実 績 P B R | 0.75 倍 |

直前のレポート発行日

ベーシック 2012/07/09

13年3月期2Q累計の非連結業績は減収減益

13年3月期2Q累計の非連結業績は、営業収益が1,325百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益が200百万円（同40.1%減）となった。営業収益については、1Qに746百万円と四半期ベースでは過去3番目の水準を記録したが、2Qは579百万円と苦戦し、2Q累計では前年同期を下回った。一方、2Q累計の営業費用は1,124百万円と前年同期比4.4%増となっており、営業利益は大幅な減益となった。

3Qの営業収益は過去最高更新へ～通期予想は見直し

一方、その後の月次概況（速報）をみると、営業収益は12年10月が235百万円、11月が287百万円、12月が280百万円と、高水準で推移している。合計すると3Qの営業収益は802百万円となり、四半期ベースでは過去最高を更新することになりそうだ。特に11月以降は自民党安倍総裁の積極的な金融緩和姿勢を背景に円安傾向が強まり、顧客の取引が活発化。顧客口座数や預り資産残高も着実に増加し、営業収益の増加に繋がっている。

会社側では13年3月期の非連結業績について業績予想を発表していないが、モーニングスターでは、足下までの状況を考慮し、営業収益2,930百万円（前年比11.7%増）、営業利益530百万円（同22.7%増）と予想。前回レポート時には営業収益3,000百万円、営業利益520百万円と予想していたが、2Qの営業収益が想定を大きく下回った影響を反映してやや減額した。ただ、営業利益については、2Q累計の営業費用が想定よりも少なかったことや、3Q以降の営業収益が好調に推移しそうなことを考慮し、若干増額した。

| 業 績 動 向 | | | 営業収益 百万円 | 前期比 % | 営業利益 百万円 | 前期比 % | 経常利益 百万円 | 前期比 % | 当期純利益 百万円 | 前期比 % | EPS 円 |
|---------|----------|--------------------------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|----------|--------------|----------|----------|
| 2012/03 | 2Q(4-9月) | 実 績 | 1,413 | 62.3 | 335 | 6.4倍 | 330 | 7.4倍 | 190 | 11倍 | 3,851.63 |
| 2013/03 | 2Q(4-9月) | 実 績 | 1,325 | -6.2 | 200 | -40.1 | 195 | -40.8 | 115 | -39.6 | 2,425.93 |
| 2012/03 | 通 期 | 実 績 | 2,623 | 26.3 | 432 | 3.6 | 422 | 16.5 | 235 | -9.6 | 4,814.71 |
| 2013/03 | 通 期 | 会 社 予 想 | 未定として発表 | | | | | | | | |
| | | 新・アナリスト予想 | 2,930 | 11.7 | 530 | 22.7 | 520 | 23.2 | 280 | 19.1 | 5,892.63 |
| | | 旧・アナリスト予想 (2012年7月発表) | 3,000 | 14.4 | 520 | 20.4 | 520 | 23.2 | 270 | 14.9 | 5,679.67 |
| 2014/03 | 通 期 | 新・アナリスト予想 | 3,440 | 17.4 | 670 | 26.4 | 670 | 28.8 | 350 | 25.0 | 7,365.78 |
| | | 旧・アナリスト予想 (2012年7月発表) | 3,570 | 19.0 | 780 | 50.0 | 780 | 50.0 | 400 | 48.1 | 8,414.32 |

業 績

2Q 累計の非連結 業績は減収減益に

● 業績解説

13年3月期2Q累計(12年4~9月)の非連結業績は、営業収益が1,325百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益が200百万円(同40.1%減)となった。営業収益については、1Q(12年4~6月)に746百万円と四半期ベースでは過去3番目の水準を記録したが、2Q(12年7~9月)は579百万円と苦戦し、2Q累計では前年同期を下回った。1Q、2Qとも総じてボラティリティ(変動率)の低い相場環境となったが、12年3月に導入した「せま割20」※の効果(顧客の利用状況は4割~6割程度)もあって、稼働顧客数が増加。2Q累計の顧客取引高は前年同期比9.1%減だったが、営業収益は同6.2%減にとどまっており、落ち込みを軽減した。

一方、2Q累計の営業費用は1,124百万円と前年同期比4.4%増となっており、営業利益は大幅な減益となった。前年同期との比較では、総じて費用が増加した格好だが、このうち広告宣伝費は前年の1Qが震災の影響で抑制されており、その反動といった面もある。ただ、当社の営業費用は固定的な部分が大きく、広告宣伝費や支払い手数料など変動費的な部分もあるものの、総額では月間で2億円を下回る水準で安定的に推移している。1Qのように営業収益が伸びれば営業利益も大きくなるが、2Qのように営業収益が低調となれば、利益面でも厳しくなる傾向にある。

【2Q累計業績の比較】 (単位:百万円)

| | 12/3/2Q累計 | 13/3/2Q累計 | 前年同期比 |
|------|-----------|-----------|--------|
| 営業収益 | 1,413 | 1,325 | -6.2% |
| 営業費用 | 1,077 | 1,124 | 4.4% |
| 営業利益 | 335 | 200 | -40.1% |

【四半期業績の推移】 (単位:百万円)

| | 12/3/1Q | 12/3/2Q | 12/3/3Q | 12/3/4Q | 13/3/1Q | 13/3/2Q |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 営業収益 | 662 | 750 | 546 | 663 | 746 | 579 |
| 営業費用 | 521 | 556 | 534 | 579 | 569 | 555 |
| 営業利益 | 140 | 194 | 12 | 84 | 176 | 24 |
| 営業費用の内訳 | | | | | | |
| 人件費 | 137 | 152 | 148 | 177 | 157 | 161 |
| 広告宣伝費 | 110 | 170 | 172 | 187 | 166 | 160 |
| 器具備品費 | 35 | 49 | 41 | 39 | 57 | 52 |
| 不動産費 | 20 | 24 | 23 | 24 | 23 | 28 |
| 減価償却費 | 37 | 45 | 49 | 50 | 44 | 49 |
| 支払い手数料 | 61 | 60 | 57 | 56 | 73 | 59 |
| その他 | 119 | 52 | 40 | 42 | 46 | 42 |

(会社資料よりモーニングスター作成)

業 績

※「せま割 20」

当社の自動発注機能シリーズのうち、トラップリピートイフダン、リピートイフダン、トラップイフダンにて注文を発注、取引を行う際に、利益確定の値幅が 20 ポイント（20 銭）以内の注文に限り、手数料を一律 1 ポイント（1 通貨あたり・片道）とするサービス。通常は 1 万通貨未満 5 ポイント、1 万通貨以上でも 3 ポイントだが、手数料を下げることで小さい値幅でも利益を確保しやすくした。これにより、狭いレンジでの積極的なトラリピ戦略（自動発注機能を利用した戦略）が可能になるため、低ボラティリティ相場でも取引が成立しやすくなると考えられる。

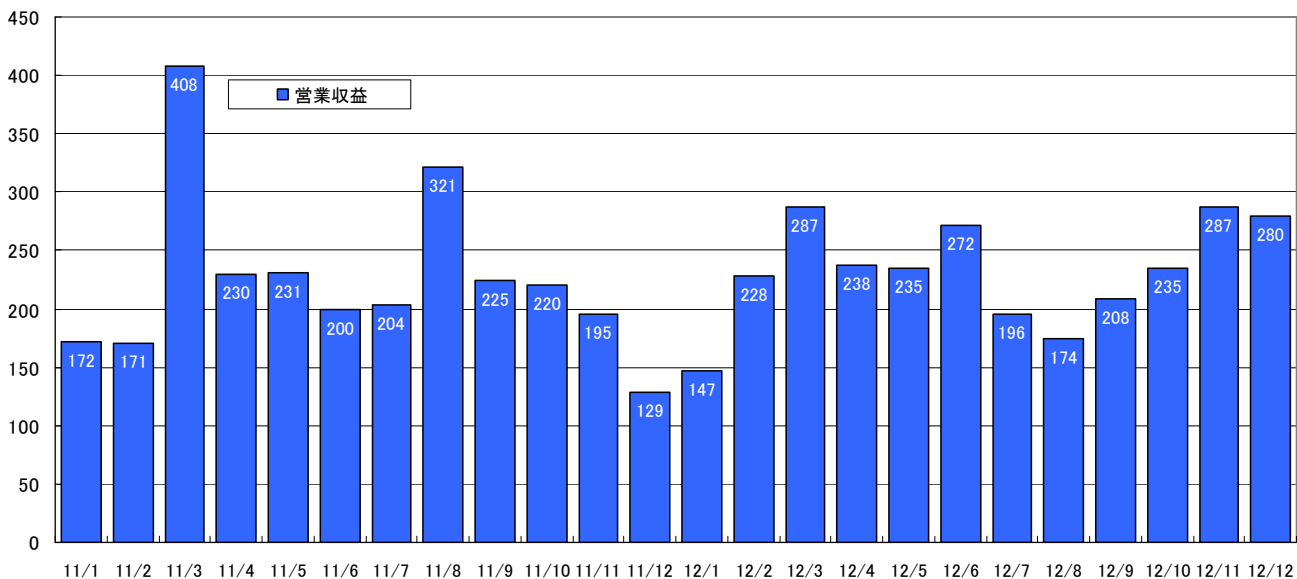
● 業績予想

一方、その後の月次概況（速報）をみると、営業収益は 12 年 10 月が 235 百万円、11 月が 287 百万円、12 月が 280 百万円と、高水準で推移している。合計すると 3Q の営業収益は 802 百万円となり、四半期ベースでは過去最高を更新することになりそうだ。

相場環境としては、11 月以降は自民党安倍総裁の積極的な金融緩和姿勢を背景に円安傾向が強まり、顧客の取引が活発化。顧客口座数や預り資産残高も着実に増加し、営業収益の増加に繋がっている。

3Q の営業収益は
四半期ベースで過去最高更新へ

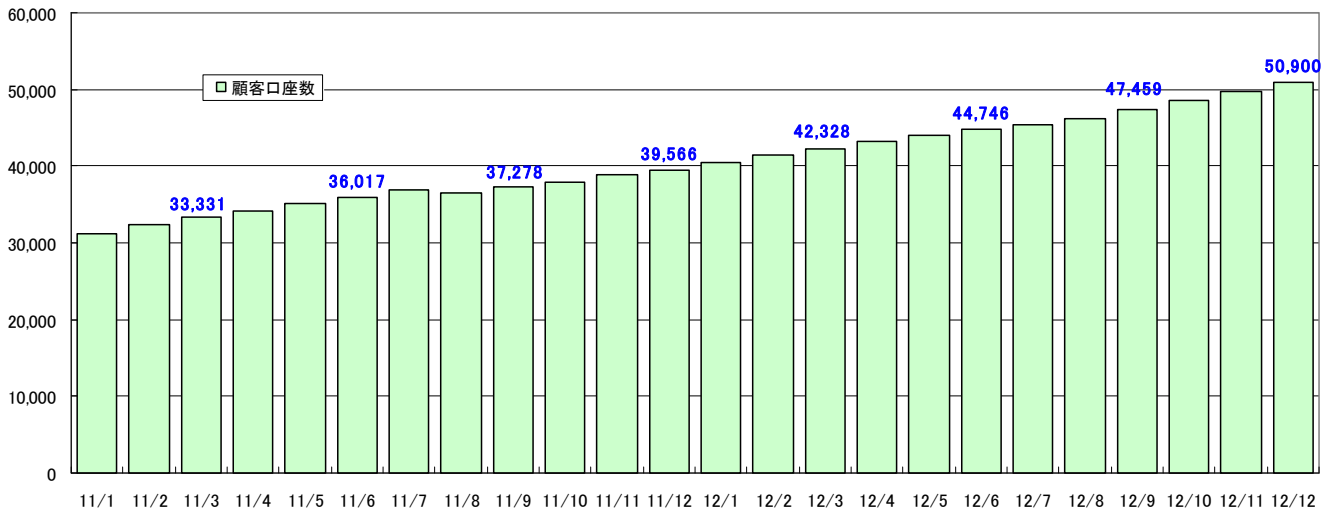
(百万円) 営業収益の推移(月次)



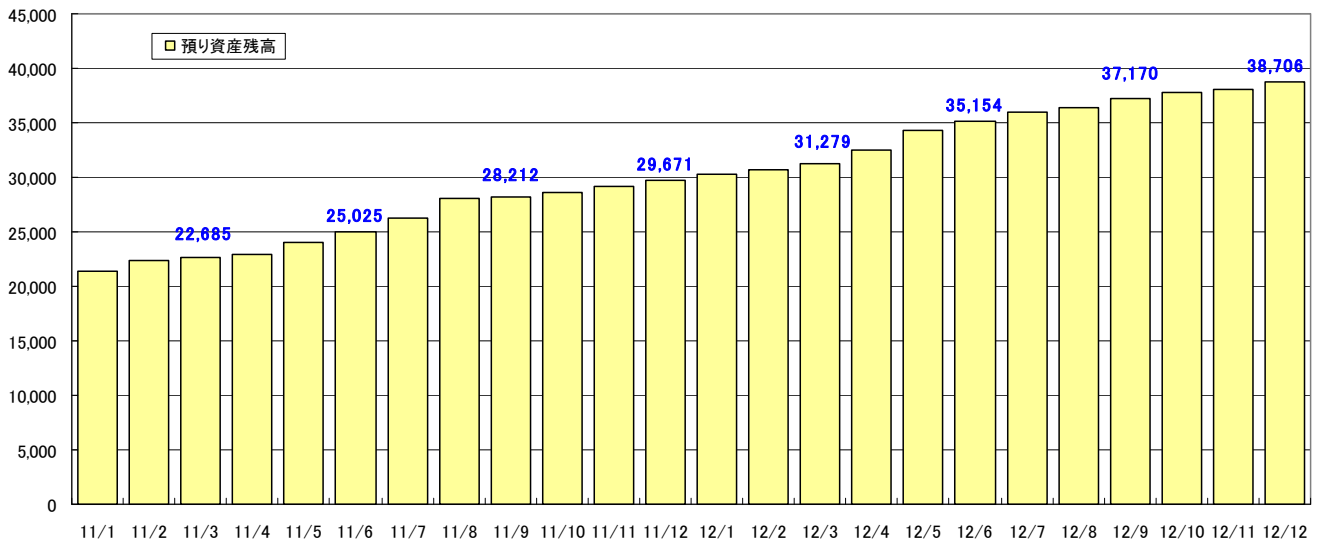
(会社資料よりモーニングスター作成)

業 績

(口座) 顧客口座数の推移(月次)



(百万円) 預り資産残高の推移(月次)



(会社資料よりモーニングスター作成)

11月は利益確定した益金の出金が増加

なお、顧客口座数については、10月が48,645口座(前月比2.5%増)、11月が49,812口座(同2.4%増)、12月が50,900口座(同2.2%増)となったのに対し、預り資産残高は10月が37,811百万円(前月比1.7%増)、11月が38,099百万円(同0.8%増)、12月が38,706百万円(同1.6%増)、とやや伸び率が低い。この理由としては、11月は急速に円安が進んだことで利益を計上した投資家が多く、利益確定した益金を一度出金するといった動きが強まったためと見られている。例年、年末などにも出金が増える傾向にあり、この結果、11~12月は口座数が増えたが、預かり資産残高の伸びが低くなったと考えられる。

業 績

モーニングスターは
13年3月期の業
績予想を見直し

会社側では13年3月期の非連結業績について業績予想を発表していないが、モーニングスターでは、足下までの状況を考慮し、営業収益2,930百万円（前年比11.7%増）、営業利益530百万円（同22.7%増）と予想している。前回レポート時には営業収益3,000百万円、営業利益520百万円と予想していたが、2Qの営業収益が想定を大きく下回った影響を反映してやや減額した。ただ、営業利益については、2Q累計の営業費用が想定よりも少なかったことや、3Q以降の営業収益が好調に推移しそうなことを考慮し、若干増額した。

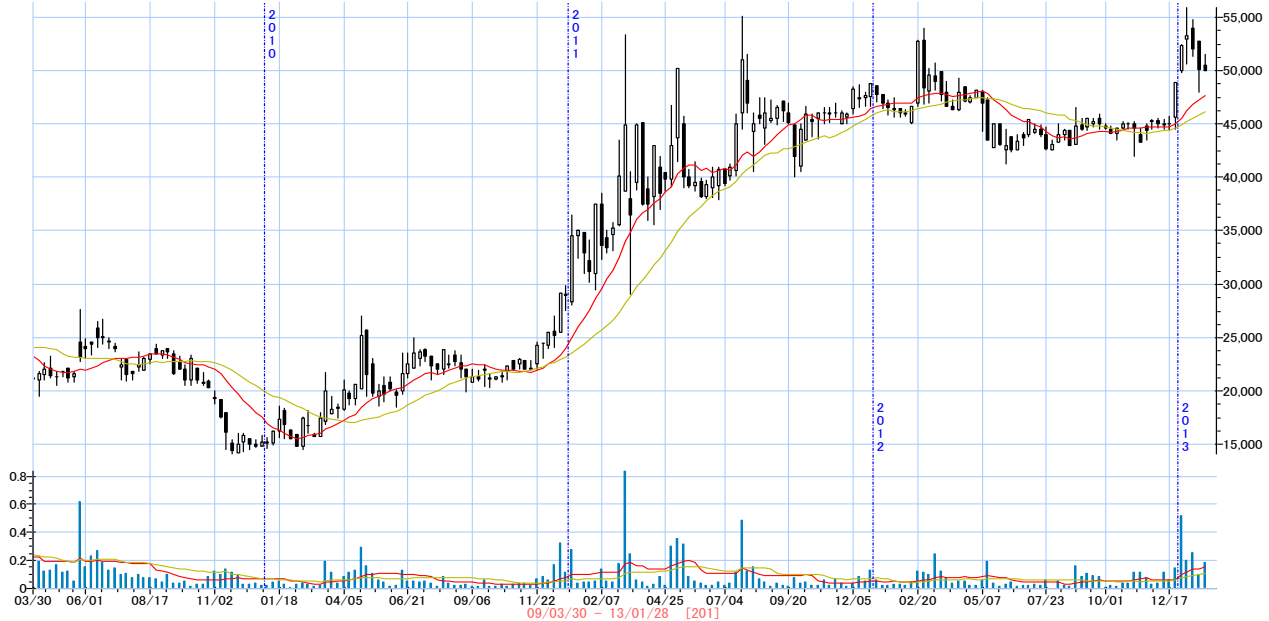
14年3月期の業
績予想についても
保守的に見直し

続く14年3月期の非連結業績についても、営業収益3,440百万円、営業利益670百万円と、増収増益予想ながら、前回予想（営業収益3,570百万円、営業利益780百万円）から減額した。モーニングスターでは、預かり資産残高と稼働率を想定し、業績予想を行っているが、13年3月期2Qのように低ボラティリティ相場では稼働率が想定以上に低下する可能性があることから、保守的に見直した。

ただ、足下の状況としては、預り資産残高は12年12月まで36ヶ月連続で増加しており、顧客口座数も着実に増加している。低ボラティリティ相場の対策の一つとして導入した「せま割20」や「せま割5」の利用も増えており、今後についても、預り資産残高の拡大とともに営業収益の拡大が期待される。

なお、新規顧客の獲得については、引き続きポータルサイトとの連携やSNSなどWEBを活用した戦略を進める方針。一方で、既存顧客に対しては、質の高い情報の配信など、投資家教育に注力したい考えで、新設した市場調査室などを活用して他社との差別化を図りたい方針だ。

M 2 J [8728/JQ] 選足 2013/01/29



(出所) 株QUICK

上記チャート図の一部又は全部を、方法の如何を問わず、また、有償・無償に関わらず第三者に配布してはいけません。
 上記チャート図に過誤等がある場合でも株QUICK 社及び大阪証券取引所は一切責任を負いません。
 上記チャート図の複製、改変、第三者への再配布を一切行ってはいけません。

| | | | 2010/03 | 2011/03 | 2012/03 | 2013/03 予 (アナリスト) |
|-------------------------------------|--------------------------------|-----|-----------|----------|----------|----------------------|
| 株 価 推 移 | 株 価 (年 間 高 値) | 円 | 27,600 | 53,400 | 55,100 | - |
| | 株 価 (年 間 安 値) | 円 | 14,100 | 17,500 | 35,600 | - |
| | 月 間 平 均 出 来 高 | 株 | 2,021 | 1,852 | 1,671 | - |
| 業 績 推 移 | 営 業 収 益 | 百万円 | 1,183 | 2,077 | 2,623 | 2,930 |
| | 営 業 利 益 | 百万円 | -199 | 417 | 432 | 530 |
| | 経 常 利 益 | 百万円 | -245 | 362 | 422 | 520 |
| | 当 期 純 利 益 | 百万円 | -347 | 260 | 235 | 280 |
| | E P S | 円 | -6,887.32 | 5,222.92 | 4,814.71 | 5,892.63 |
| | R O E | % | -11.3 | 8.7 | 7.5 | 8.8 |
| 貸 借 対 照 表 主 要 項 目 | 流 動 資 産 合 計 | 百万円 | 13,682 | 21,877 | 30,398 | - |
| | 固 定 資 産 合 計 | 百万円 | 459 | 550 | 739 | - |
| | 資 産 合 計 | 百万円 | 14,142 | 22,428 | 31,138 | - |
| | 流 動 負 債 合 計 | 百万円 | 11,229 | 19,058 | 27,742 | - |
| | 固 定 負 債 合 計 | 百万円 | 0 | 230 | 186 | - |
| | 負 債 合 計 | 百万円 | 11,229 | 19,288 | 27,929 | - |
| | 株 主 資 本 合 計 | 百万円 | 2,890 | 3,112 | 3,161 | - |
| キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー 計 算 書 主 要 項 目 | 純 資 産 合 計 | 百万円 | 2,912 | 3,139 | 3,208 | - |
| | 営 業 活 動 に よ る CF | 百万円 | -74 | 567 | 515 | - |
| | 投 資 活 動 に よ る CF | 百万円 | -126 | -185 | -585 | - |
| | 財 務 活 動 に よ る CF | 百万円 | -38 | 160 | 74 | - |
| | 現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高 | 百万円 | 982 | 1,524 | 1,529 | - |

ディスクレーム

1. 本レポートは、株式会社大阪証券取引所（以下「大証」といいます。）が実施する「JASDAQアナリストレポート・プラットフォーム」を利用して作成されたものであり、大証が作成したものではありません。
2. 本レポートは、本レポートの対象となる企業が、その作成費用を支払うことを約束することにより作成されたものであり、その作成費用は、当該企業が大証に支払った金額に大証からの助成金を加えたうえでモーニングスター株式会社（以下「レポート作成会社」といいます。）に支払われています。
3. 本レポートは、大証によるレビューや承認を受けておりません（ただし、大証が文面上から明らかに誤りがある場合や適当でない場合にレポート作成会社に対して指摘を行うことを妨げるものではありません）。
4. レポート作成会社及び担当アナリストには、この資料に記載された企業との間に本レポートに表示される重大な利益相反以外の重大な利益相反の関係はありません。
5. 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的として作成されたもので、有価証券の取引及びその他の取引の勧誘又は誘引を目的とするものではありません。有価証券の取引には、相場変動その他の要因により、損失が生じるおそれがあります。また、本レポートの対象となる企業は、投資の知識・経験、財産の状況及び投資目的が異なるすべての投資者の方々に、投資対象として、一律に適合するとは限りません。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、投資者ご自身の判断でなされるようお願いいたします。
6. 本レポート作成にあたり、レポート作成会社は本レポートの対象となる企業との面会等を通じて、当該企業より情報提供を受けておりますが、本レポートに含まれる仮説や結論は当該企業によるものではなく、レポート作成会社の分析及び評価によるものです。また、本レポートの内容はすべて作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
7. 本レポートは、レポート作成会社が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、大証及びレポート作成会社は、本レポートの記載内容が真実かつ正確であり、そのうちに重要な事項の記載が欠けていないことやこの資料に記載された企業の発行する有価証券の価値を保証又は承認するものではありません。本レポート及び本レポートに含まれる情報は、いかなる目的で使用される場合におきましても、投資者の判断と責任において使用されるべきものであり、本レポート及び本レポートに含まれる情報の使用による結果について、大証及びレポート作成会社は何ら責任を負うものではありません。
8. 本レポートの著作権は、レポート作成会社に帰属しますが、レポート作成会社は、本レポートの著作権を大証に独占的に利用許諾しております。そのため本レポートの情報について、大証の承諾を得ずに複製、販売、使用、公表及び配布を行うことは法律で禁じられています。

<指標の説明について>

本レポートに記載の指標に関する説明は、大阪証券取引所ウェブサイトに掲載されております。

参照 URL ⇒ <http://www.ose.or.jp/jasdaq/5578>